

凡 例

一、本目録は、新潟大学附属図書館所蔵の佐野文庫（敬徳書院蔵書）五千二百三十七部、二万四千六百三十八冊と古文書（京屋文書・佐野家文書）の総目録である。

一、図書は国書と漢籍の二部に分け、それぞれ「内閣文庫国書分類目録」と「内閣文庫漢籍分類目録」の分類表に準じて分類した。

一、同一分類番号内の各書の排列は、著作または刊行の年代順によるのを原則としたが、注釈・考証などの図書は、その年代にかかわらず原書の次に排列した。

一、記載の順序は書名、巻次、編・著者、刊（写）年次、冊数とし、場合により註を加えた。

一、国書と漢籍に対する総合索引は書名の五十音順にした。また、双書・全集の内容細目などのほか、別書名や冠称からも引けるようにし、特に難読の書名は総画数からひけるようにした。

一、最後にのせた古文書（京屋文書・佐野家文書）は文部省史料館（現国立史料館）の分類表により分類し、同一分類内の資料は年代順に記載した。